

# 伴走支援の取組み状況について

---

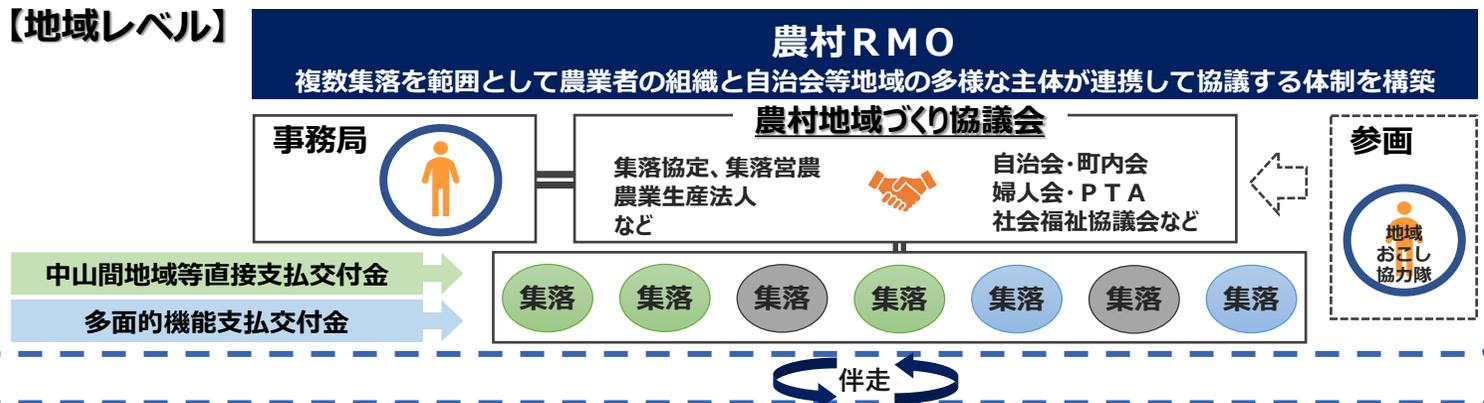
令和6年9月

農林水産省 農村振興局 地域振興課

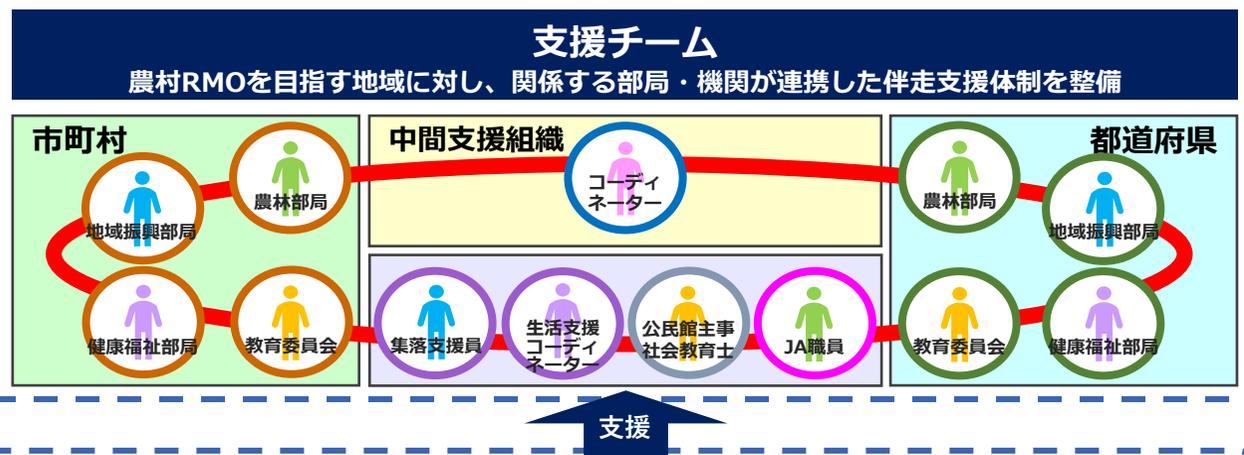
# 農村型地域運営組織(農村RMO) 形成推進に関する推進体制について

○ 農村RMOを効果的に形成するため、全国・県域・地域レベルの各段階における推進体制の構築等を支援。

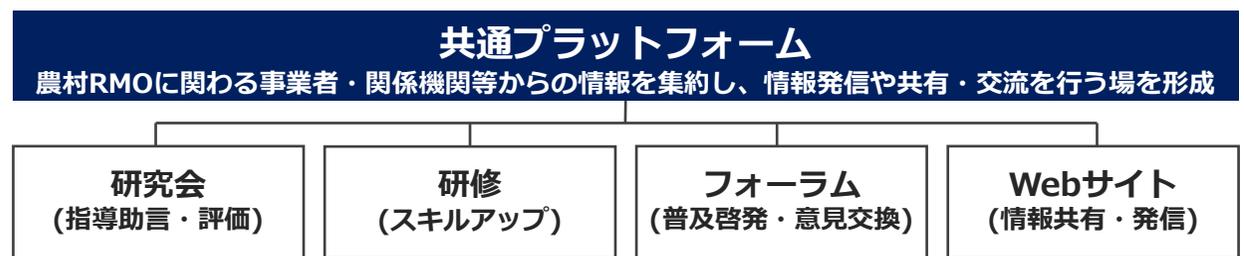
## 【地域レベル】



## 【県域レベル】



## 【全国レベル】



部局横断的な農村RMO支援チームを形成し、農村RMO形成の伴走を実践し、ノウハウを蓄積

↓

当該県におけるモデル的な農村RMOを形成し、横展開

↓

農村RMO形成のノウハウを蓄積し、全国にDNAを普及

中国四国（計25地区）

- 島根県（8地区）
49 和田地区まちづくり推進委員会（浜田市）
50 今福まちづくり委員会（浜田市）
51 佐田地域づくり協議会（出雲市）
52 久利・大屋地区小さな拠点推進協議会（大田市）
53 池田集落協定運営委員会（大田市）
54 躍動とあらしの里づくり鍋山（雲南市）
55 出羽地区運営協議会（邑南町）
56 口羽地区振興協議会（邑南町）
岡山県（2地区）
57 吉縁起村協議会（真庭市）
58 みまさか農村RMO（美作市）
広島県（4地区）
59 石原集落地域振興協議会（三次市）
60 田幸地区町内会連合会（三次市）
61 布野町まちづくり連合会（三次市）※申請中
62 庄原市山内集落地域振興協議会（庄原市）
徳島県（4地区）
63 加茂谷RMO推進協議会（阿南市）
64 椿町農村RMO運営組織協議会（阿南市）
65 奥阿波RMO推進協議会（阿南市）
66 赤松地区農村RMO推進協議会（美波町）
愛媛県（2地区）
67 横林カスタマイズ（西予市）
68 奥松瀬川地区農村活性化協議会（東温市）
高知県（5地区）
69 北川村地域活性化協議会（北川村）※申請中
70 本山町農村みらい会議（本山町）
71 明るい柳野を創る会（いの町）
72 集落活動センター「四万川」推進委員会（梶原町）
73 （一社）三原村集落活動センターやまびこ（三原村）

九州（計14地区）

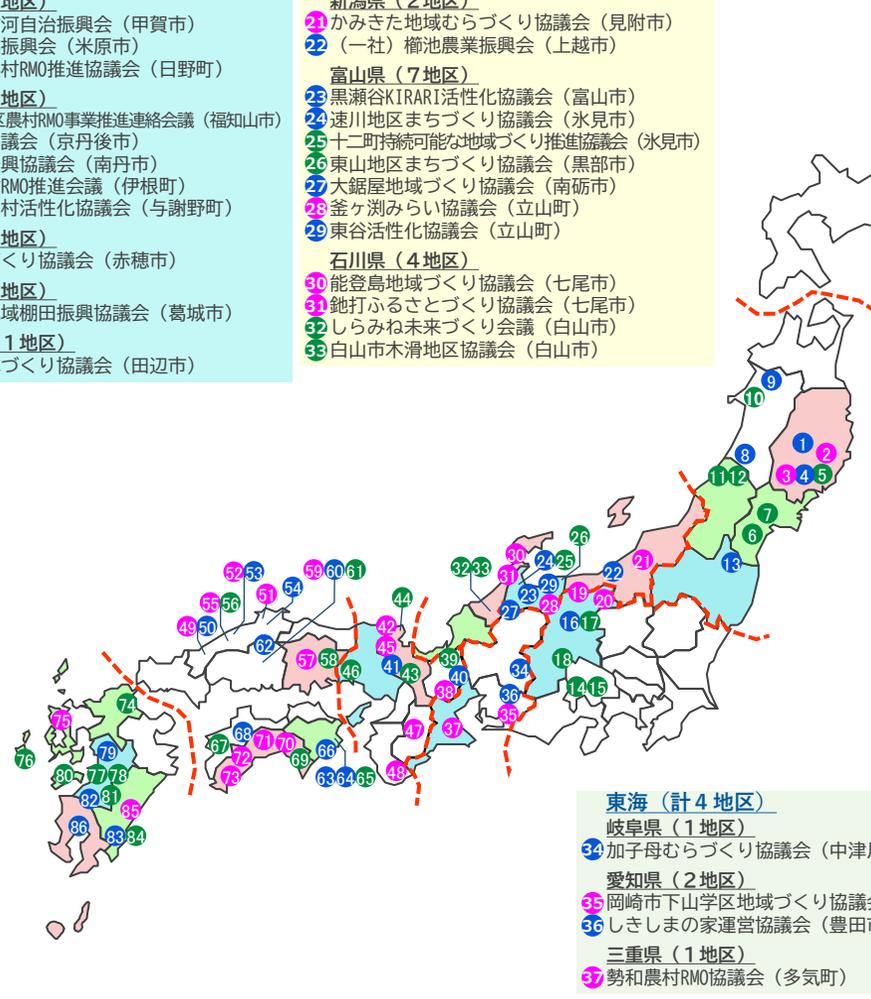
- 福岡県（1地区）
74 採銅所地域コミュニティ協議会（香春町）
長崎県（2地区）
75 根獅子・飯良まちづくり運営協議会（平戸市）
76 岐宿まちづくり協議会山内支部（五島市）
熊本県（6地区）
77 東陽農村RMO協議会（八代市）
78 五家荘地域振興会（八代市）
79 菊鹿さきもり隊（山鹿市）
80 宮地岳みらい山協議会（天草市）
81 山江村未来づくり協議会（山江村）
82 くまむら地域再生協議会（球磨村）
宮崎県（3地区）
83 酒谷地区むらおし推進協議会（日南市）
84 下塚田ふるさと応援隊（日南市）
85 東米良地区1000年協議会（西都市）
鹿児島県（2地区）
86 北山校区コミュニティ協議会（始良市）
87 天城町地域づくり協議会（天城町）

近畿（計11地区）

- 滋賀県（3地区）
38 羽ばたけ鮎河自治振興会（甲賀市）
39 東草野農業振興会（米原市）
40 桜谷地域農村RMO推進協議会（日野町）
京都府（5地区）
41 中六人部地区農村RMO事業推進連絡会議（福知山市）
42 宇川連携協議会（京丹後市）
43 摩気地域振興協議会（南丹市）
44 伊根町農村RMO推進会議（伊根町）
45 与謝地域山村活性化協議会（与謝野町）
兵庫県（1地区）
46 豊かな郷づくり協議会（赤穂市）
奈良県（1地区）
47 葛城山麓地域棚田振興協議会（葛城市）
和歌山県（1地区）
48 秋津野地域づくり協議会（田辺市）

北陸（計13地区）

- 新潟県（2地区）
21 かみきた地域むらづくり協議会（見附市）
22 （一社）榊池農業振興会（上越市）
富山県（7地区）
23 黒瀬谷KIRART活性化協議会（富山市）
24 速川地区まちづくり協議会（氷見市）
25 十二町持続可能な地域づくり推進協議会（氷見市）
26 東山地区まちづくり協議会（黒部市）
27 大鋸屋地域づくり協議会（南砺市）
28 釜ヶ淵みらい協議会（立山町）
29 東谷活性化協議会（立山町）
石川県（4地区）
30 能登島地域づくり協議会（七尾市）
31 鉦打ふるさとづくり協議会（七尾市）
32 しらみね未来づくり協議会（白山市）
33 白山市木滑地区協議会（白山市）



東海（計4地区）

- 岐阜県（1地区）
34 加子母むらづくり協議会（中津川市）
愛知県（2地区）
35 岡崎市下山学区地域づくり協議会（岡崎市）
36 しさしまの家運営協議会（豊田市）
三重県（1地区）
37 勢和農村RMO協議会（多気町）

東北（計13地区）

- 岩手県（5地区）
1 たてまち地域づくり協議会（花巻市）
2 土淵町農村活性化協議会（遠野市）
3 伊手農村農業活性化協議会（奥州市）
4 星の広場（奥州市）
5 南股まちづくり協議会（奥州市）
宮城県（2地区）
6 はせくら地区活性化推進協議会（川崎町）
7 鹿原地区コミュニティ推進協議会（加美町）
秋田県（3地区）
8 麓のカロコ協議会（にかほ市）
9 ふじさと粕毛地域活性化協議会（藤里町）
10 下岩川地域づくり協議会（三種町）
山形県（2地区）
11 日向ふるさとづくり協議会（酒田市）
12 大沢わぐわぐ未来協議会（酒田市）
福島県（1地区）
13 チームさすけネットりょうぜん（伊達市）

関東（計7地区）

- 山梨県（2地区）
14 ふじかわRMO未来会議（富士川町）
15 富士川町中部・五閉地域づくり協議会（富士川町）
長野県（5地区）
16 戸隠地域づくり協議会（長野市）
17 大岡ふるさとづくり協議会（長野市）
18 山室地域協議会（伊那市）
19 小谷村農村地域づくり協議会（小谷村）
20 秋山郷地域づくり協議会（栄村）

Legend for the map:
Pink circle: モデル形成支援地区(R4着手) 28地区
Blue circle: モデル形成支援地区(R5着手) 28地区
Green circle: モデル形成支援地区(R6着手) 31地区
Red dashed line: 都道府県併走支援(R4着手) 7箇所
Cyan dashed line: 都道府県併走支援(R5着手) 6箇所
Light green dashed line: 都道府県併走支援(R6着手) 7箇所
Total 87地区, 20箇所

# 農村型地域運営組織（農村RMO）形成に向けた伴走支援【京都府】



- 事業取組地区の状況・活用可能な事業について、府庁内にて情報共有・意見交換を図るとともに、具体的な課題や事業活用については、気軽に相談できる関係を構築
- 本庁・振興局・中間支援組織が毎月の会議で密に現場に関する情報共有を行い、支援方針を定めるとともに、現場での話し合いに参加するなど寄り添い支援を実施

## 実施体制

### ○本庁内での連携

・本庁農村振興課、振興局担当者、中間支援組織との月例会議を開催し、支援実績、取組方針を話し合う。関係部局とはメール等でその都度情報共有を行う。

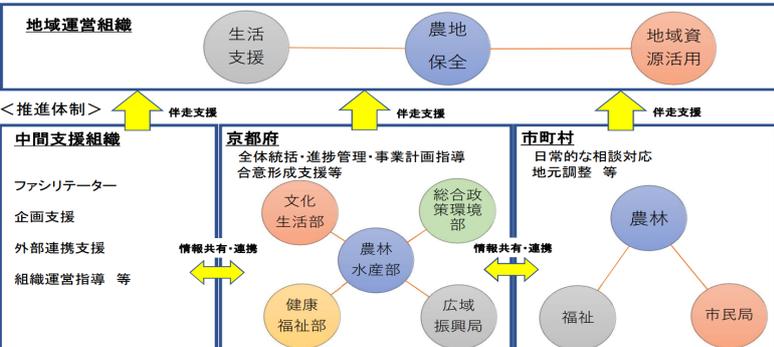
### ○出先機関との連携

・振興局担当職員は地域での話し合いや取組に出席し、情報共有や事務局運営のサポートを行う。また、局内部でも情報共有を行い、必要とあれば、他部局の担当者も帯同させ地域のサポートを行う。

### ○市町村との連携

・事業取組前に、市の窓口となる職員へ事業説明を行い、地域内での話し合いへの参加、別事業や先進地の紹介、取組支援をしてもらうこととし、事業取組完了後も伴走支援が続く体制を構築。

- ・住民主体による地域運営組織(RMO)の形成にあたり、京都府・市町村・中間支援組織が役割分担しながら伴走支援
- ・京都府、市町村それぞれにおいて、地域課題の内容に応じて関係部局間で調整の上、RMOを支援
- ・京都府各部局が所管する地域づくり関連事業を通じて、農村RMO形成に関心がある地区の情報収集と新規実施地区の掘り起こしを推進



## 中間支援組織

- ・組織名：有限責任事業組合まちの人事企画室
- ・当該組織の業務概要
  - ①行政の「教育」「地域連携」「採用」などの伴走支援
  - ②民間企業の「経営企画」「採用」「人事」などの伴走支援
- ・農村RMO形成伴走支援での役割（県が期待している点など）
  - ①地域住民との十分な対話を通して適切なプロジェクトを設計し、住民合意の形成及び意思決定を図ることができるよう、課題解決パートナーとして柔軟なサービスを提供する。
  - ②伴走支援サービス提供のノウハウの蓄積

## 中間支援組織の声

- ・地域だけで事業を進める事が難しい場合、行政との間に入り事務局の相談を受けたり、一緒に悩みながら進められる伴走支援者としての役割があると感じる。
- ・事務局に事業推進や事務作業が集中しがちなため、体制作りや役割整理が必要。
- ・地域から単純な労働力や主導者として期待されがち。自走する組織となるため、どこまで伴走すべきか悩みながら支援。
- ・地域の当初計画のままでは事業実行に必要な時間や人員が現実的でないことがあり、適宜進捗確認・見直しが必要。

## 取組内容

### ○農村RMOモデル形成支援実施地区への支援

#### 【農村RMOの運営体制づくり支援】

農村RMOの総会・役員会・部会へ出席し、プロジェクトの情報共有・進捗確認を行ったり、構成団体との調整及び合意形成支援、事務局を運営する人材確保・育成支援を行う。

#### 【調査・活動計画の策定支援及び実証試験等に対する支援】

支援対象地域における既存資料・調査結果等を収集し整理のうえ、各プロジェクトの課題・手順・工程案の検討及び見直しを行い、必要な情報やアドバイスを提供する。

#### 【支援活動記録の作成】

伴走支援サービスのノウハウを蓄積させ、他地区における支援業務の参考とするため、伴走支援活動の意図や背景、具体的内容、成果などを支援プロセスに沿って記録し、作成・使用した各種資料と併せて整理する。

### ○取組開始地域やその他への支援

#### 【農村RMOモデルの取組に向けて】

当該事業取組意向のある地区に赴き、事業概要をはじめ、取組体制、取組内容の精査を、実施主体となる組織と一緒にを行い、事業開始時の初速をつける。

#### 【農村地域再構築推進事業】

地域活動の刷新し、再編、合理化（むらの減築）と近隣集落との連携に向けた話し合いを進め、地域共同活動の省力化を図り、次の活動（農村RMO事業等）に取り組むための余力も作り出す。



## 課題・対応策・工夫・取組の効果等

### ○課題・対応策

- ・新たな取組は初速が重くなりがちなので、あえて伴走支援者が主体的に話を進め、慣性が付いたタイミングで住民主体となるよう誘導する。
- ・業務過多になりがちな事務局に、定期的なコミュニケーションを取りながら寄り添う。
- ・本来着手すべき課題を整理し、無駄な活動を促さないように、取組の取舍選択を地元と一緒にやる。

### ○工夫・取組の効果等

- ・農村RMOモデル形成支援実施地区のモデル体系化（一体型、分散型）。
- ・京都府版伴走支援マニュアルや府職員向け伴走支援テキストを作成（予定）。

